

中期計画 試行 [2] 面談資料

緊急時対応組織に係る訓練等の中期計画の範囲設定シート（災害対策本部（高松））（案）

活動主体	No.	活動項目	活動内容	活動実行のために協力・連携する組織	活動の提供先
災害対策 本部 (高松)	H 1	災害対策本部の本部運営			
	H 2	原子力事業所災害対策支援拠点の設置・運営	以下防災業務計画に基づく、原子力事業所災害対策支援拠点の設置・運営 ・ 3章 第2節 13. 原子力防災要員等の派遣 （3）原子力事業所災害対策支援拠点への派遣 a. 原子力事業所災害対策支援拠点における業務に関する事項 （a）発電所への物資、要員の派遣 （b）輸送に付随する放射線管理、入退域管理	・ 四国電力送配電株式会社 ・ 協力会社 ・ 原子力緊急事態支援組織 ・ プラントメーカー ・ 建設業者 ・ 原子力規制委員会 ・ 実動組織を含む関係機関 ・ 災害対策本部（高松）（H 1） ・ 他の原子力事業者（H 3） ・ オンサイト医療従事者（H 8）	—
	H 3	他事業者支援組織との協定に基づく連携			
	H 4	住民対応支援 避難退域時検査場所への要員派遣			
	H 5	緊急事態応急対策等拠点施設での外部組織との情報連携活動			
	H 6	広報活動			
	H 7	社内他部門との支援要請連携			
	H 8	原子力災害医療			
	H 9	核物質防護事案を起因とした警戒事象等への対応 (核物質防護組織との連携活動)			
	H 10	核物質防護事案への対応			
H X	事業所外運搬				

能力向上の可能性抽出シート(案)

活動項目 H2：原子力事業所災害対策支援拠点の設置・運営

①2019～2022年の中期計画における実施実績

【前4ヵ年共通の訓練実績】

四国電力送配電および協力会社（以下、「関係協力会社」という）の要員と連携し、支援拠点の現地活動エリア（以下、「支援拠点活動エリア」という）の候補地となる松山太陽光発電所隣接グラウンドにおける拠点設備設営訓練^{※1}および運営訓練^{※2}を実施。なお、年度毎の新たな取組事項は以下の通り。

※1：テント、通信機器、車両除染エリアの設営訓練

※2：災害対策本部との通信設備による情報連絡、保護衣着脱、車両除染、入退域処理の各活動を個別に実動する訓練

【年度毎の新たな取組事項】

2019年度 実発災を想定し、可搬型電源を使用した拠点設備への給電による訓練を実施

2020年度 コロナ感染予防対策を考慮したテント内レイアウトの設営を実施

2021年度 簡易線量管理システムを用いて、模擬入退域者にて入退域処理を実施

2022年度 オンサイト医療活動における医療従事者受け入れを想定し、医療支援テントを設営し、医療従事者の受け入れ模擬を実施

②訓練評価結果、気づき事項、良好事例

➤ これまで実施してきた訓練では、年度毎に新たな取組事項を取り入れた訓練を実施しており、実効性の検証、気づき事項の改善活動により、以下のとおりマニュアルの充実が図られている。（マニュアル反映事項）

- ・四国電力送配電から可搬型電源を使用した通信設備の配置レイアウト図の提案
- ・協力会社から感染症予防対策を考慮したテント内レイアウト図の提案
- ・簡易線量管理システムの取扱要領をマニュアルへ反映

➤ これまで実施してきた運営訓練は、「毎年の訓練場所が同じであること」および「各活動を個別に実施していること」から活動範囲が限定的であり、対応能力維持に留まっている。（気づき事項）

③更なる能力向上の可能性（継続的改善の段階：基盤（マニュアル等）を充実する段階）

- ・これまで実施してきた訓練にてマニュアルの充実は図られており、関係協力会社を含めた改善活動は定着している。そのため、関係協力会社との実動訓練を継続することは、基盤充実に有効と考える。
- ・これまで実施してきた訓練は、同じ支援拠点活動エリアで同様な訓練内容を繰り返し実施することに留まっている。このため、訓練未経験の支援拠点活動エリアでの実動訓練や支援拠点活動エリア内の各活動が連動した訓練により、新たな気づきが得られ、マニュアルの実効性向上の可能性がある。
- ・社外組織との連携については、すでに関係構築されている関係協力会社との連携訓練を実施し、実効性の検証や改善を行ってきた。一方、実動組織を含む関係機関とは後方支援拠点の活動に関する訓練ができていない状況であることから、まずは意見交換により関係構築を行うことで、実動組織を含む関係機関との連携した訓練の実施につなげることができると考える。

取組事項・達成水準設定シート(案)

④ 2023～2026年度の中期計画における具体的な取組事項・達成水準

<実動訓練>

- 支援拠点活動エリアにおける関係協力会社との実動訓練を実施する。【達成水準：年1回の実施】
- 支援拠点活動エリア内の各活動が連動した実動訓練を実施する。【達成水準：中期期間中に1回の実施】
- 訓練未経験の支援拠点活動エリア候補地における実動訓練を実施する。【達成水準：中期期間中に1回の実施】

<意見交換>

- 支援拠点活動エリアにおける、実動組織を含む関係機関との連携に係る意見交換を実施する。【達成水準：中期期間中に1回以上の実施】

<他社視察>

- 他社の後方支援拠点訓練に視察、評価者を派遣する。【達成水準：年1社以上の派遣】

<共通>

- 上記の取組事項から抽出された改善事項や良好事例をマニュアルへ反映する。【達成水準：改善計画通りに反映ができています】

⑤ 2027年度以降に取り組むべき改善領域

○実動組織を含む関係機関との連携訓練

- ・支援拠点活動エリアにおける、実動組織を含む関係機関と連携した図上訓練または実動訓練（情報連携、実動）の実施

○多様な訓練シナリオ

- ・マルファンクション付与による支援拠点運営に係る臨機な対応を実施
- ・支援拠点活動エリアの運営規模を拡大した訓練を段階的に実施

緊急時対応組織に係る訓練等の中期計画（災害対策本部（高松））（案）

組織全体の中期的な目標
原子力事業所災害対策支援拠点の活動エリア設置・運営について、当該活動の基礎能力強化を図り、実動組織との連携ができる社内体制を構築する。（H2）

活動主体	No.	活動項目	中期の取組事項・達成水準		訓練実施計画				
					2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
災害対策本部 （高松）	H1	災害対策本部の本部運営	内容	● (xxx)	● (xxx)	● (xxx)	● (xxx)	
	H2	原子力事業所災害対策支援拠点の設置・運営	<p><実動訓練></p> <p>○支援拠点活動エリアにおける関係協力会社との実動訓練を実施する。 【達成水準：年1回の実施】</p> <p>○支援拠点活動エリア内の各活動が連動した実動訓練を実施する。 【達成水準：中期期間中に1回の実施】</p> <p>○訓練未経験の支援拠点活動エリア候補地における実動訓練を実施する。 【達成水準：中期期間中に1回の実施】</p> <p><意見交換></p> <p>○支援拠点活動エリアにおける、実動組織を含む関係機関との連携に係る意見交換を実施する。 【達成水準：中期期間中に1回以上の実施】</p> <p><他社視察></p> <p>○他社の後方支援拠点訓練に視察、評価者を派遣する。【達成水準：年1社以上の派遣】</p> <p><共通></p> <p>○上記の取組事項から抽出された改善事項や良好事例をマニュアルへ反映する。 【達成水準：改善計画通りに反映ができています】</p>	内容	● 訓練方法：実動 目的： ・実効性検証、課題抽出 内容： ・支援拠点活動エリア内の各活動が連動した訓練 ・関係協力会社との連携	● 訓練方法：実動 目的： ・実効性検証、課題抽出 内容： ・訓練未経験の支援拠点活動エリアにて各活動個別の訓練 ・関係協力会社との連携	● 訓練方法：実動 目的： ・実効性検証、課題抽出 内容： ・前年の訓練未経験の支援拠点活動エリアにて各活動が連動した訓練 ・関係協力会社との連携	● 訓練方法：実動 目的： ・実効性検証、習熟 内容： ・支援拠点活動エリア内の各活動が連動した訓練 ・関係協力会社との連携	● 訓練方法： ・意見交換 目的： ・関係構築、課題抽出 内容： ・支援拠点活動エリアでの実動組織との防災時活動における意見交換
				評価者（実施）	訓練後記載	訓練後記載	訓練後記載	訓練後記載	

[凡例]
 ●：訓練の実施 [指標に基づく評価を行う]
 ○：訓練の実施 [指標に基づく評価を行わない]
 -：訓練以外の活動の実施